

報道記者たちのアジア

丸山静雄

(1909-2006)

写真展



2012年10月29日(月)～11月2日(金)
東京外国語大学府中キャンパス 研究講義棟 1階ガレリア (入場無料)

企画趣旨

東京外国語大学では、本学卒業生（1936年英語科卒）であり、永らく朝日新聞社において、アジア諸国特派員、そして論説委員として、日本のアジア報道の第一線で活躍されました丸山静雄氏 [1909-2006] の多数の貴重な資料を、御遺族より寄贈いただきました。

氏の著作活動は、日本軍の諜報に関する著作にはじまり、従軍記者としての体験を下敷きにしたインパル作戦、朝日新聞論説委員として健筆をふるわれたベトナム戦争、そして日本の戦争遂行とその責任など幅広い領域にわたっています。

この度、1950年代から60年代にかけての取材活動に伴い撮影された、南アジア・東南アジアに関わる写真の数々を、これらの地域を専門とする本学研究者の協力をえて展示することとなりました。

日本のあるべきアジア理解を終生の課題とされた氏の足跡を辿りつつ報道記者たちのアジアへの眼差しに触れたいと思います。

会場へのアクセス



丸山静雄氏略歴

1909年12月19日神奈川県生まれ。

1936年東京外国語学校（英米科）卒業。

同1936年朝日新聞記者となる。

従軍記者としてビルマにおけるインパール作戦、
ベトナムにおける明号作戦に参加。

戦後も特派員としてアジア諸国を取材。ニューデリー支局長、
バンコク支局長、外報部次長などを歴任。

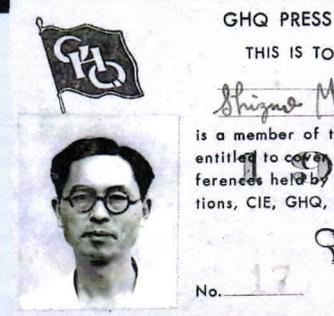
1962年8月から1974年12月まで論説委員を担当。

ベトナム戦争が起こっていたこの間、インドシナ関係の社説
を精力的に執筆。

1974年に朝日新聞社を退職後は、中野区教育委員を経て、
国際商科大学教授（1978年～1986年）。

その他、平和・民主主義・革新統一を進める全国懇話会
世話人、日本ベトナム友好協会常任理事などを務める。

2006年10月10日肺炎のため死去、享年96歳。



丸山静雄氏著作一覧 (単行書)

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1948-04 『中野学校』 平和書房 | 1974-02 『ベトナム その戦いと平和』 朝日新聞社 |
| 1948-12 『還らぬ密偵』 平和書房 | 1974-03 『アジアを考える』 アジア経済研究所 |
| 1950-01 『失われたる記録』 後楽書房 | 1975-08 『ベトナム解放』 朝日新聞社 |
| 1952-09 『アジアの覚醒』 日本出版共同 | 1977-06 『論説委員』 筑摩書房 |
| 1953-07 『秘録大東亜戦史』 (編著) 富士書苑 | 1978-12 『新生ベトナムと日本』 ダイアモンド社 |
| 1960-05 『東南アジア通信』 みすず書房 | 1981-10 『インドシナ物語』 講談社 |
| 1961-03 『写真集・東南アジア』 修道社 | 1983-04 『東南アジア』 (編著) 講談社 |
| 1962-11 『東南アジア』 みすず書房 | 1984-06 『インパール作戦従軍記』 岩波書店 |
| 1966-03 『アメリカの援助政策』 (編著) アジア経済研究所 | 1985-09 『インド国民軍』 岩波書店 |
| 1966-05 『インディラ・ガンジー首相』 大成出版社 | 1985-12 『諜報戦争』 (編著) 講談社 |
| 1967-08 『混合革命』 みすず書房 | 1986-02 『アジアの反乱』 (編著) 講談社 |
| 1968-01 『東南アジアと日本』 アジア経済研究所 | 1988-09 『アジア特派員 50年』 青木書店 |
| 1969-10 『ベトナム戦争』 筑摩書房 | 1991-06 『アジアの開発と援助』 新日本出版社 |
| 1970-03 『農業開発協力指導調査団報告書』 海外技術協力事業団 | 1992-02 『アジアが燃えた日々』 ダイアモンド社 |
| 1970-11 『アメリカの挫折』 (共訳) 草思社 | 1995-04 『日本の「七〇年戦争」』 新日本出版社 |
| 1971-11 『アジアの重み』 大成出版社 | 1997-12 『日本のアジア支配を考える』 新日本出版社 |
| 1972-11 『ベトナム戦争』 (編著) 平凡社 | 2002-09 『典範令と日本の戦争—新聞人のジャーナリズム精神』 新日本出版社 |

丸山静雄氏の手書きメモや文章の断片。内容はアジアに関する考察や報告書の一部と思われる。

